

もしかして、 レビー小体型認知症？

5個以上該当するようであれば、
レビー小体型認知症の
可能性があります。



- ☐ 実際にはないものが見える
- ☐ 頭がはっきりしているときと、
そうでないときの差が激しい
- ☐ 動作が緩慢になった
- ☐ 筋肉がこわばる
- ☐ 小股で歩く
- ☐ 睡眠時に異常な言動をとる
- ☐ もの忘れがある
- ☐ うつ的である
- ☐ 妄想がみられる
- ☐ 転倒や失神を繰り返す

監修

横浜市立大学 筑波大学大学院
名誉教授 人間総合科学研究科 教授
小阪 憲司 水上 勝義

早期発見と
早期治療が
大切です！

ホームページの
ご案内



レビー サポート 茨城 検索

DLBSNとは？

レビー小体型認知症 サポートネットワークの略称



介護する家族だけでなく、DLB患者ご本人、ケア
スタッフの皆さん、医療関係者と病気やケアに
ついて学び、支え合っていきたい、情報共有し
たい、そんな願いをもって取り組んでいます。



石橋さつき
平塚玲子
阿部訓枝
白石昌世司
濱田智克
中山真一
長瀬ちさと
森 敦志
山口明子

【水戸事務局】 担当：森 敦志
社会福祉法人 翠清福祉会 ケアハウスみと
水戸市酒門町4231-2
TEL 029(246)1112
Eメール blbsnibaraki@gmail.com

【つくば事務局】 担当：黒川 百合子
合同会社新源 居宅介護支援センター結い
古河市中田406番地6
TEL 0280(51)5027
Eメール blbsnibaraki@gmail.com

レビー小体型認知症 サポートネットワーク茨城



ひとりで
悩まないで
一緒に考える仲間が
ここにいます



みなさんとの出会いを大切にし、 集い、語り合う場所です



レビー小体型認知症サポートネットワーク茨城はご本人・ご家族・関心のある方、どなたでも参加できます。心配なこと、わからないこと、話を聞いてもらいたいこと何でも結構です。ご本人・ご家族のお話を聞き、医師や専門職が質問に答えます。



定期開催している交流会の様子

レビー小体型認知症

脳に「レビー小体」という異常なたんぱく質が集まることで神経細胞が壊され、認知機能が低下する病気です。アルツハイマー型認知症やパーキンソン病に似た症状がみられます。特徴的な症状の一つが、実際にはないものが見える「幻視」。たとえば、「男の子がそこに座っている」などと具体的です。抗認知症薬のドネペジル塩酸塩は進行を抑える効果が期待されます。



同じ苦勞を分かり合える人たちと日頃の悩みや不安を語り合うことで、心が軽くなったり役立つ情報を得ることができます。

顧問医： 筑波大学 名誉教授 水上 勝義

和やかな雰囲気の中、受診のポイントや治療薬、診断方法の情報なども意見交換しています。また、体験を交えながらの生活のしづらさを改善する工夫も役に立っています。



真剣にメモを取る参加者



Q&A

Q：参加したいときはどうすればいいですか？

A：水戸とつくばで2ヶ月に1回、交流会を開催しています。案内はホームページ*をご覧ください。どなたでも参加できます。お待ちしております。
(運営メンバー)



*ホームページのご案内はこの面の裏にあります。

Q：夜中、いるはずのない子どもが部屋にいるときがあって困っています。

A：わたしは、枕元に懐中電灯を置いて寝ています。夜中、実際にはいないものが見えるとき、懐中電灯で照らすと消えるので、そういう工夫をしています。(ご本人)



参加者の声



- ・先生や参加者の皆さんのお話を聞いて、今までの父の行動が納得できました。(ご家族)
- ・介護者が忙しすぎたりイライラしていることが、本人へ影響することを知り、自分の健康も考えたいと思います。(ご家族)
- ・薬の副作用が出やすいたがわかり、日頃のケアに活かしたいと思います。(介護職員)

